

施設カルテ

施設番号: 362

施設名: 別府海浜砂湯

施設の概要	所在地	大字北石垣字雁屋沢津804番地7 外				運営形態	その他					
	所属課	温泉課				年間運営日数(日)	352.00					
	利用圏域	地区				運営時間 <sup>※1</sup>	開館	08:30	閉館	18:00		
	コミュニティ区分	北部				運営人員(人) <sup>※2</sup>	正職員		任用職員			
	施設用途	スポーツ・レクリエーション系施設					その他					
	中分類	保養施設				指定管理者・委託者等	(一財)別府市総合振興センター					
	設置目的	市民の健康増進と福祉の向上を図り、観光客の利便に供することを目的として設置。昭和61年から営業を開始し、砂の浜辺が残る上人ヶ浜の一角に位置し、一度に10名以上が入浴できる。				防災拠点施設指定	指定なし					
	設置条例	別府市有温泉施設等の設置及び管理に関する条例				最寄りの類似施設	施設名	わくわく温泉かっぱの湯[民]	距離(m)	770		
	施設の現況	開設年月日:H14.4.10/主な利用者:市民及び観光客/用途地域:商業地域/標高:3/駐車可能台数:10/AEDあり				外観						
	建設費(円)	29,232,000										
	取得価額等(円)	29,232,000										
	補助金額(円)											
	減価償却累計額(円)	12,862,080										
	老朽化比率	44.00%										
施設概要	危険区域等の有無:津波/高潮避難所の指定:無											
土地情報	敷地面積(m <sup>2</sup> )	3,687.00										
	所有区分	公有										
建物状況	名称	構造	階数	建築面積(m <sup>2</sup> )	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年月日	法定耐用年数	老朽化状況 <sup>※3</sup>	新耐震基準 <sup>※4</sup>	耐震化状況	バリアフリー状況	
	別府海浜砂湯	鉄筋コンクリート	1		146.58	2002/03/29(築20年)	47	老朽化対策の検討が必要	○		全く対応していない	
スペース構成の状況	名称	利用料収入(円/年)	延床面積(m <sup>2</sup> )	年間利用者数(人/年)	利用目的別 利用者内訳(人/年)					利用状況	稼働率(%)	備考
					主催事業	サークル	地域利用	官庁利用	一般利用			

※1:24時間の場合は0:00~23:59と表記している

※2:業務時間の割合で按分を行った場合は、小数点で表示している

※3:稼働年数が耐用年数の

1/3未満 :問題なし  
1/3以上2/3未満:老朽化対策の検討が必要  
2/3以上 :老朽化が進行している

※4:1981年6月1日以降に建築確認を受けたものを○とする

施設カルテ

施設番号: 362

施設名: 別府海浜砂湯

収入の状況	項目		平成31年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	利用状況	項目		平成31年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)
	収入	施設使用料収入	0	0	0		利用者	55,837	20,319	26,212	
	財産賃付料収入・目的外使用料収入	15,000	15,000	16,000							
	負担金	0	0	0							
	その他の収入	6,360,000	6,360,000	10,200,000							
	収入合計(円)	6,375,000	6,375,000	10,216,000	年間利用者数(人)	55,837	20,319	26,212			
支出の状況	直営・人に係る支出	人件費	0	0	0	収支と利用者数の推移					
	直営・施設に係る支出	光熱水費	0	0	0		<p>リーダーチャート</p>				
		工事請負費・修繕料	610,000	364,000	13,352,000						
		土地・建物の賃借料	0	0	0						
		土地・建物以外のリース料	0	0	0						
		施設・設備管理委託料	640,000	389,000	11,731,000						
	直営・事業運営に係る支出	施設に係る_その他	0	0	0			<p>老朽化状況についての判断方法</p> <p>建物状況の老朽化状況により点数の決定を行い、平均値を施設の得点とする。(小数点以下四捨五入)                      『問題なし:3点』                      『老朽化対策の検討が必要:2点』                      『老朽化が進行している:1点』                      『未登録:0点』</p> <p>耐震化状況についての判断方法</p> <p>新耐震基準が「〇」の場合は3点とし、それ以外の場合は建物状況の耐震化状況により点数の決定を行い、平均値を施設の得点とする。(小数点以下四捨五入)                      『耐震化状況_実施済:3点』                      『耐震化対策中:2点』                      『耐震化対策が必要:1点』                      『未登録:0点』</p> <p>バリアフリー状況についての判断方法</p> <p>建物状況のバリアフリー状況により点数の決定を行い、平均値を施設の得点とする。(小数点以下四捨五入)                      『全対応:3点』                      『一部対応:2点』                      『未対応:1点』                      『未登録:0点』</p> <p>避難所指定についての判断方法</p> <p>避難所指定の建物がある場合は3点とし、ない場合は1点とする。</p> <p>最寄りの類似施設の有無についての判断方法</p> <p>最寄りの類似施設がない場合は3点とし、ある場合は1点とする。</p>			
		事業委託費	0	0	0						
		事業物件費(需用費・役務費等)	0	0	0						
	指定管理料	事業運営に係る_その他	0	0	10,230,000						
		指定管理料	0	0	0						
	支出合計(円)	1,250,000	753,000	35,313,000							
利用者1人あたりのコスト(円/人)	22	37	1,347								
1㎡あたりのコスト(円/㎡)	8,528	5,137	240,913								
稼働日あたりのコスト(円/日)	3,551	2,139	100,321								
支出に対する収入の割合	510.00%	846.61%	28.93%								
減価償却費(円)	643,104	643,104	643,104								
減価償却費を含む支出合計(円)	1,893,104	1,396,104	35,956,104								
減価償却費を含む支出に対する収入の割合	336.75%	456.63%	28.41%								